

報告

第3回 関東支部会報告

「地域とともにあゆむ天文教育・普及 Part2」

2010年6月27日 三鷹ネットワーク大学 30名参加

八巻富士男（埼玉県立大宮高校，関東地区運営委員）

今回も，関東支部が主催する次回の年会（2010年8月開催予定）の直前リハーサルを兼ねて，次回の年会と同じテーマ（「地域とともにあゆむ天文教育・普及」）で支部の発表を行うとともに，地域密着型の活動を発展させていく上でどのような課題があり，どう解決されるのかを議論するためのパネルディスカッションを行い，活発な討論が展開されました。

1. 【テーマおよび一般発表】

- (1) 「幼児・児童への天文教育活動」
小幡真希（星のソムリエ(r)みたか）
- (2) 「大都会での観測会10年の経験から」
小川誠治（渋谷星の会）
- (3) 「市民とともにプラネタリウム」
高橋真理子（山梨県立科学館）
- (4) 「山梨県立科学館星の語り部・地域への活動の展開」 河西あゆみ（山梨県立科学館サイエンスクルー星の語り部）
- (5) 「星空づくりはまちづくり～ライトダウン甲府バレーの取り組み」 跡部浩一（ライトダウン甲府バレー実行委員会）
- (6) 「①教育の種類…学校教育とそれ以外，②我々はどこから来たか…生物進化論との連携，③フーコー振子の50年…フーコー振り子はどのように実演されたか」

佐藤明達

2. 【館内見学（昼食時）】

3. 【講演】 「日本科学未来館における友の会イベントの取り組みについて」

代島慶一（日本科学未来館・科学コミュニケーション推進室）



【代島氏の講演と熱心に聞き入る参加者】

代島氏は未来館の友の会の活動について報告されました。主なものとして、モデルロケット打ち上げ、プラネタリウム制作、クロストーク日食を語る、地球最強生物…ネムリユスリカ&クマムシ、望遠鏡作り、宇宙飛行士訓練体験、実験教室ロボット制作等について紹介されました。

4. 【パネルディスカッション】

「天体観望会等天文イベント開催における課題」

以下の4人のパネラーによる話題提供の後、活発な討論が行われました。

・学校が行うイベント

水野孝雄（学校への天文教育支援WG代表代行）学校への天文教育支援における課題とWGに代わる委員会の提案

・天文同好会が行うイベント

塩田和生（日食情報センター）

・科学館・博物館等が行うイベント

根本しおみ（川口市立科学館）

・地域の市民が行うイベント

縣秀彦（国立天文台・天文情報センター）
星空案内人の活躍と科学フェスティバルの紹介